

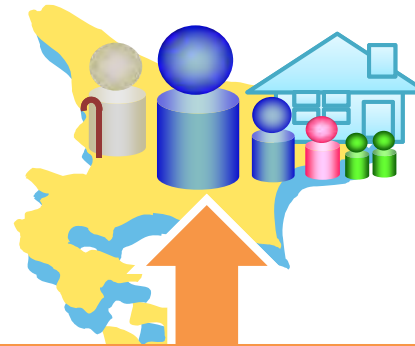
「地方創生」におけるテレワーク

人材誘致

消費
子育て
社会参加

都市集中が進み、地方が衰退する中、「産業創出」「企業誘致」に加え、テレワークによる「人材誘致」をめざす「ふるさとテレワーク」。

都心部の仕事をテレワークでする(遠隔雇用・クラウドソーシング等)ことで、都心部からのお金を地方で消費し、子育てし、社会参加する地方創生が可能になる。



ふるさとテレワーク

地方(ふるさと)で暮らしながら

最新のICTを活用して

地方の仕事を奪うのではなく

都会と同じ「いつもの仕事」を

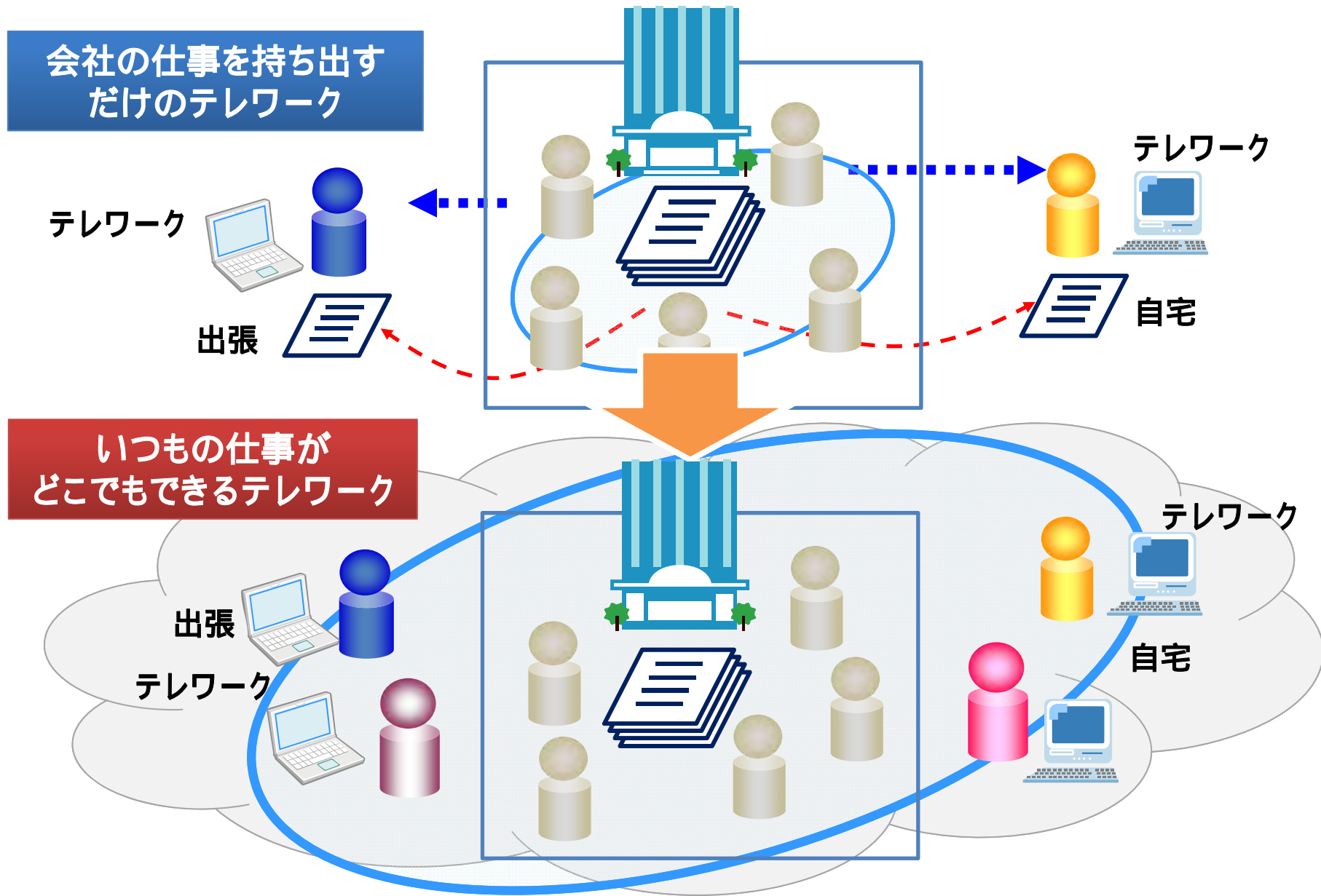


人材不足

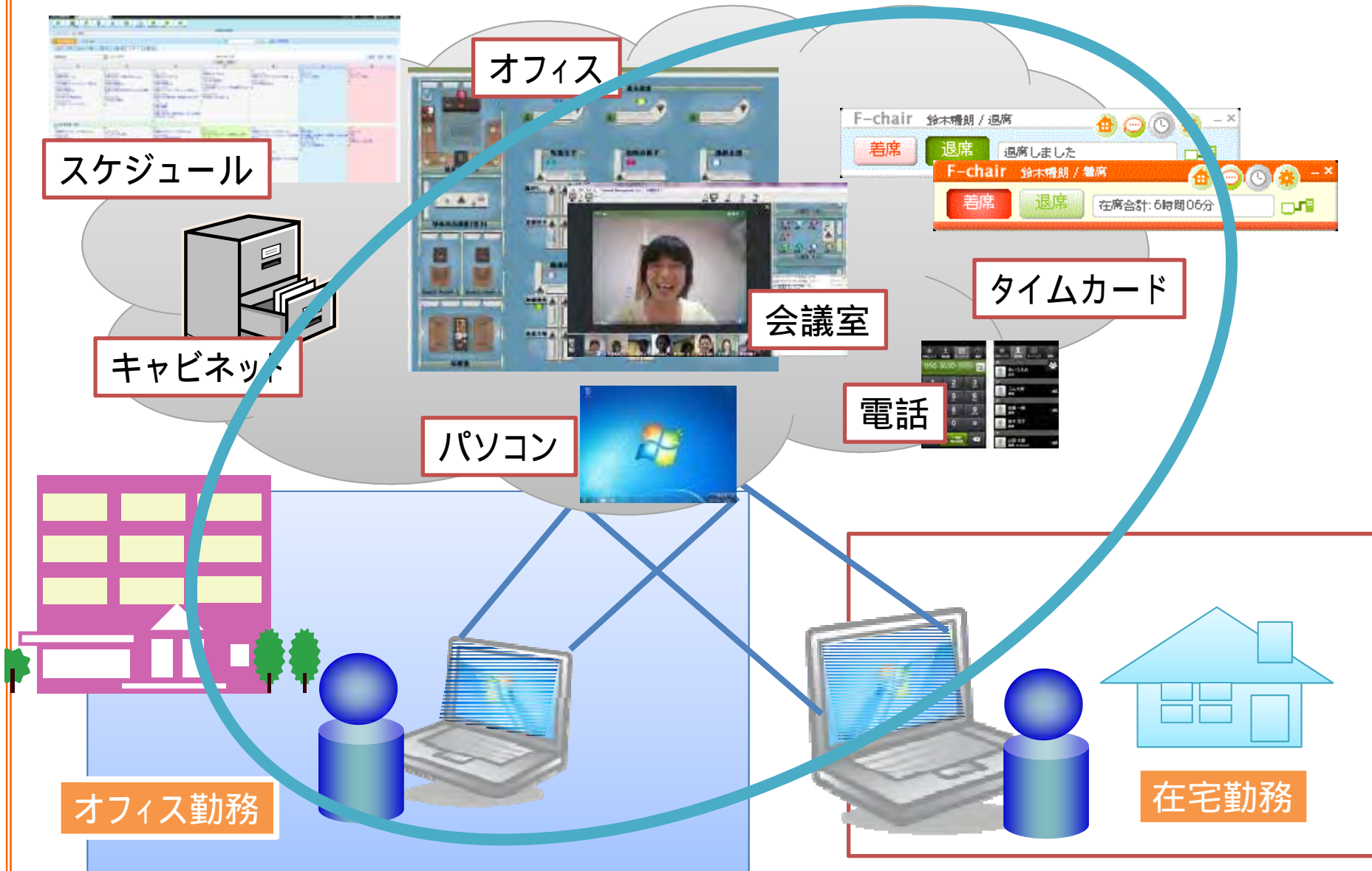
雇用



経済にも効果をもたらす「テレワーク」導入のために・・・



ICTの適切な活用により、いつもの仕事を、どこでも



テレワーク=自由 ではありません

テレワークなら、好きな時間に、好きな場所で、好きなだけ働ける?!

柔軟に働く

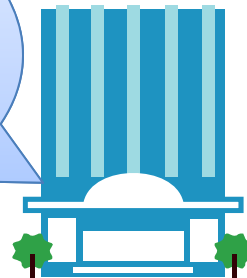


自由に働く

個人の事情に合わせ、「働く場所」や「働く時間」を解放することで、より多くの人働き続けることができる。

しかし、欧米のように「自由に」「自己責任で」働くのではなく、労働基準法のもと、従来と同じ、またはそれ以上に、生産性を高めて働けるようにすることが重要である。

社員のワークライフ
バランスが向上しても、
生産性が低下するのは
困る



柔軟に働けても、
成果だけで評価され
ると、過剰労働
になるのでは...